

よみがえる文化財

美術品修復の現場から

■10

今、富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」を鑑賞しながらドビュッシーの交響詩「海を聴いています」を聴いていきます。静かに夜明けを告げるホルンとトランペットの

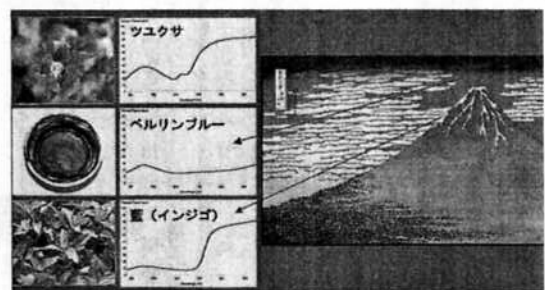


吉備国際大教授
下山 進氏

音、波と戯れるバイオリンのリズム。オーボエと低音の弦が風となりティンパニと大太鼓が雄大な海のうねりを奏でてフィナーレとなります。

この曲の初演は1905年にパリで行われ、その波間の静けさに浮かぶ富士の姿が浮かんでいきます。富嶽三十六景シリーズの描いた海がドビュッシーにインスピレーションを与えたといえます。それは、開国を機にして浮世絵版画が西洋に流出したところからです。たしかに、目を閉じて聴き入ると、どんよりと暗く沈んだ空を背景に、庶民に広まった富士山信

それまでの浮世絵版画とは異なり、この三十六景は一番重要な輪郭線を青の絵の具で描いています。皆さんが目にする多くの浮世絵版画は、輪郭線が黒（墨）です。北斎はその常識を破って、輪郭線に青を用いたので、当時輸入されて聞かない舶来物の絵の具「ベルリンブルー」といわれてきました。しかし、それは意外にも日本の青だったの



富嶽三十六景「颯風快晴」分析結果（輪郭線を藍で、色板をベルリンブルーで描る）

のです。

◆二つの青を使い分けた北斎

三十六図からなる富嶽三十六景をすべて調査しました。その結果、清涼感のある淡青色から鮮明な濃い青で描かれている雲や海などの平面の青は、たしかに西洋のベルリンブルーでした。しかし、輪郭線の青は、すべて日本古来の藍（インジゴ）だったのです。

なぜ、北斎はこの二つの青にこだわったのでしょうか。藍の線にベルリンブルーを重ねて描くと、藍の線はベルリンブルーの青に隠れず、明確に残ります。また、従来のように輪郭線を黒で描るより、青で描ったほうが画面の色彩は柔らかく感じられるようになりま

北斎こだわりの青

音から平圓線内がベレインブルーとしたり、ベレンス、ペロリン、ペロ、あるいはペロ藍、英語ではブルシャンプールともいわれます。

反射した光の波長を曲線（図参照）でとらえるものです。その曲線の特徴から、ツユクサが藍か、あるいはブルシャンプールであるのか判定できる

浮世絵版画の世界で

は、まずツユクサが使用され、しだいに藍に替わ

り、天保元年後半からベルリンブルーへと本格的

に移行してきます。

私たちは、この三つの

青を、さらには極細の輪

郭線まで非破壊で分析す

る方法を研究しました。

その結果、直径1〜1.5ミ

クロン程度の青を照射す

ただで即座に識別できる分析方

法を開発したのです。その

方法は、私たちの色覚を

刺激する可視光線から色

差が生じない近赤外線

の光を照射して、そのとき

などでも取り上げられ

きび

談話

車のフ

すっかり有名に。うちち

頭が市の鯛付けで同市千

屋の林道に定着。観光客

が増えたにきき、現地へ

行ってみた▲市は、全頭

付けした上で肉込み、

引き取り先を探すと

う。だが、平

日夕暮れで

も既に先客が

2台として入

気がふり。人慣れとして

愛さようもそこそこ。い

っ出資者を募ってポニ

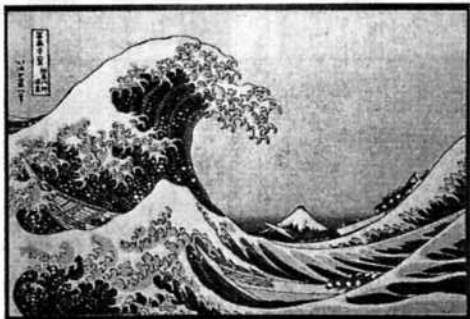
▲広場にもしてはいか

が？

【植田憲尚】



富嶽三十六景 (36図全図)



富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」
(塚川浮世絵美術館蔵)

印をとりえて、富士参詣と多角観光の旅が芽生えてくる。各地から見えるさまざまな富士の姿を挿いたのシリーズは、ドイツで発明された人造の顔料で、ドイツ語の発

（ジーンズの青でインゴ）、そして舶来の絵の具「ベルリンブルー」の三つです。ベルリンブルーは、ドイツで発明された人造の顔料で、ドイツ語の発